

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公開番号】特開 2008-138929 (P2008-138929A)
 【公開日】平成 20 年 6 月 19 日 (2008.6.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-024
 【出願番号】特願 2006-325223 (P2006-325223)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 13/22 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 1/00 3 6 1 D

F 2 4 F 1/00 3 6 1 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 3 月 27 日 (2009.3.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

室内ユニットの筐体が前面パネルと後板で構成され、該筐体に空気の吸込口と吹出口とが形成され、前記筐体内に、空気を送風する送風機と、該送風機を囲むように配された熱交換器と、後ろ側の熱交換器の結露水を受ける第 1 の後ドレンパンと、吹出口に至る空気通路を形成するために送風機に近接して配置されたスタビライザ及びリアガイドとを備えた空気調和機において、

前記第 1 の後ドレンパンと後板とが一体的に形成され、後ろ側の熱交換器の下端位置が第 1 の後ドレンパンよりも離れた位置にあるときに、その後ろ側の熱交換器の結露水を受けるための第 2 の後ドレンパンが、第 1 の後ドレンパンの上側に連結可能とされたことを特徴とする空気調和機。

【請求項 2】

前記リアガイドは、吹出口側の第 1 のリアガイドと、機種に応じて第 1 のリアガイドの空気通路上流側に接続する第 2 のリアガイドとを備え、第 1 のリアガイドが第 1 の後ドレンパンと一体に形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の空気調和機。

【請求項 3】

前記第 2 のリアガイドが、第 2 の後ドレンパンと一体に形成されたことを特徴とする請求項 2 に記載の空気調和機。